

留 学 報 告 書

記入日:2020年01月06日

所属学部／研究科・学科／専攻	理工学部機械工学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: University of California, Berkeley
留学期間	2019年08月～2019年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年12月30日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:8月上旬～12月下旬 2 学期:1月下旬～5月上旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	42,000
創立年	1868

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	13875	1526000 円	
宿舍費	8364	920000 円	211 食付き
食費	500	50000 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	300	30000 円	
教養娯楽費	5000	500000 円	旅行約4回を含む
被服費	300	30000 円	
医療費	0	0 円	
保険費	700	77000 円	形態:医療保険
渡航旅費	1315	144720 円	
雑費	100	10000 円	お土産など
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	約 30500	約 3350000 円	

渡航関連

渡航経路:ロサンゼルス経由

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	72360 円
復路	72360 円
合計	144720 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

地球の歩き方

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 1 人)

3)住居を探した方法:

明治大学およびサマーセッションに参加した友人の紹介

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

国際色豊かで、勉強と遊びを両立しやすい環境なのでお勧めです。ただし人気が高いため、できるだけ早く出願する必要があります。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
 利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

友人に相談していました。また、プログラムを統括している国際事務所に相談することも可能でした。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大学の防犯メールおよびアプリに登録され、定期的に情報が届いていました。犯罪には遭いませんでした。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

基本的に寮およびキャンパスの wi-fi を利用していました。寮のインターネットは、利用が集中すると速度がかなり遅かったです。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的に日本のクレジットカードおよび、日本で両替し持参した現金のみで生活していました。友人との割り勘のため、送金アプリも利用していました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

とくにありません。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

履修科目決定後、専用サイトを用いてクレジットカードで支払いました。

卒業後の進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
The structure and interpretation of computer programs	コンピュータプログラムの構造と解釈
科目設置学部・研究科	Computer science
履修期間	1 学期
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義, 実習, ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に60分が3回
担当教授	John S. DeNero
授業内容	Python でのプログラミングを通した, 入門的なプログラミングの方法について
試験・課題など	実践的な, ゲーム作成などを, 小問の誘導に従って解いていく形式の課題でした. 試験は筆記で, 提供される過去問と同形式の問題でした. 指定枚数のカンペを持ち込み可能です.
感想を自由記入	プログラミングの面白さが詰まった授業だと思いました. しかし, 1 年生が多く, 履修学生が 2000 人ほどとても大きなクラスであり, 積極的に参加しない限り課題をこなすのみの授業になります.

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Advanced engineering design graphics	応用エンジニアリングデザイングラフィックス
科目設置学部・研究科	Engineering
履修期間	1 学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義, 実習(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Dennis K. Lieu
授業内容	Creo を利用した3D モデリングの方法, および3DSMAX を使用してアニメーションを作成する方法について
試験・課題など	毎週モデリングやレンダリングの課題が課され, 期末試験代わりに最終プロジェクトとして3人グループで5分程度の動画を作成しました。
感想を自由記入	シラバスで想像していたものとは少し異なりましたが, とても興味深い授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Electronics for the Internet of Things	IoT のための電子機器
科目設置学部・研究科	Mechanical Engineering
履修期間	1 学期
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義, ディスカッション, 実習(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が3回
担当教授	George Anwar
授業内容	講義ではIoTに関わるような電子回路の知識について, 実習では実際にIoTプロダクトを作るための入門的な実験を行いました
試験・課題など	課題では, 授業で扱った回路についての実践問題が, 二回の間試験では, 授業中や課題で扱った回路などについての応用問題が出題されました。また, 最終プロジェクトとしてIoTプロダクトのプロトタイプを作成し発表しました。
感想を自由記入	実際に手を動かして物を作成できる楽しい授業でした。プロジェクトの準備は大変でしたが, ためになりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
GRE preparation	GRE 準備講座
科目設置学部・研究科	UC Berkeley extension
履修期間	1 学期弱
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Anish Takker
授業内容	GRE テストの問題集をひたすら解く授業でした
試験・課題など	授業内で終わらなかった問題を解いてくること, オンラインで受験できる模試を受けることが課題でした。
感想を自由記入	将来の受験のための最小限の知識は得られたと思いますが, 勉強法としてはあまり効率的ではないと思います。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験，期末試験，その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	TOEIC
8月～9月	TOEFL
10月～12月	
2018年 1月～3月	アカデミックイングリッシュ講座
4月～7月	TOEFL
8月～9月	
10月～12月	
2019年 1月～3月	出願
4月～7月	寮の選定
8月～9月	渡航，履修確定
10月～12月	期末試験

留学体験記

留学しようと決めた理由	明治大学では学べない分野の知識を身に着けたかったこと、また、英語を学ぶのではなく、英語で学ぶ体験をしたかったことが主な理由です。アメリカの大学特有の、実際に手を動かして自ら学び、身に着けるスタイルの授業を、現地の学生と同じ環境で受けることができるプログラムを見つけたことが決め手でした。さらに、必修科目が少ない 3 年秋学期の留学であれば、卒業時期を遅らせることなく留学できるとわかったことも決め手になりました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	現地にいるうちにやりたいことを書き出すことはしたのですが、実際いつ頃行うかを決めていなかったためやり損ねたことがいくつかありました。日本にいるうちはまだスケジュールが定まらないので難しいですが、絶対に外せない予定はあらかじめ決めておいてもよかったですと思います。
この留学先を選んだ理由	世界のトップレベルの学生が集まる大学であり、またアメリカの中でも国際色が豊かである地域の大学であること、また、シリコンバレーに近いことが決め手でした。さらに、語学留学ではなく、現地学生とともに授業に参加できるプログラムがあったことから留学先を決定しました。
大学・学生の雰囲気	留学生の割合がとても高く、英語が母国語でない学生にも優しい環境だと感じました。また、一帯が学生の街であるため、活気があります。
寮の雰囲気	国際寮で、様々なバックグラウンドを持つ学生が集まっていました。毎週水曜日に Coffee Hour という交流会が開かれており、普段接点がない学生とも交流を深めることができました。また、いままであまり意識してこなかった国や地域の出身学生から言語や文化、現状などについて話を聞くことが出来、勉強になりました。
交友関係	できるだけ日本人のみのグループにとどまらないように心掛け、多国籍な交友関係を築きましたが、主にシンガポール人と仲良くなり、多くの学生が住んでいるアパートでのパーティに招待してもらいました。また、同じ授業を履修している学生と積極的にコミュニケーションをとるようにしていました。
困ったこと、大変だったこと	プロジェクトのチームメンバーが全く働かなかったり、連絡がつかない時間が長かったりして大変でした。発表が近づいてから慌てて用意した部分も多く、負担が大きかったです。
学習内容・勉強について	専攻は特にありませんでしたが、機械工やコンピュータサイエンスに関係した科目を履修していました。それぞれ講義とディスカッション、実習で構成されており、さらに課題が課されます。用語自体は日本で使用されている名称と似ているものが多くなれやすかったです。略語が何を指すかを把握するのが大変でした。
課題・試験について	課題自体はあまり多くありませんでしたが、苦手分野からの出題の際はかなり手こずり、様々な友人の助けを借りてこなしていました。試験は、問題文の理解が難しいものもあり、実力不足なのか英語力不足なのか悩む部分もありましたが、今後の学習のかてになりました。
大学外の活動について	できるだけ友人と旅行に行くようにしていました。週末は近場に、連休は遠出をしていました。
留学を志す人へ	自分が当たり前だと思っていたことが、世界の当たり前ではないことを痛感する良い機会です。できるだけ多くの人と積極的に関わることに同時に、仲の良い気の置けない友人と深く関わることを大事に、自分を見つめなおす機会にしてみてください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	朝食	朝食	朝食	実習	朝食		
	講義	ディスカッション	講義	実習	講義	ブランチ	ブランチ
午後	ランチ	ランチ	ランチ	ランチ	ランチ	外出	外出
	講義	講義	ディスカッション	実習	講義	外出	外出
夕刻	夕飯	講義	夕飯	実習	夕飯	外出	外出
夜	自習	自習	コーヒーアワー	自習	自習	自習	自習